

## 池田庄金剛寺の大般若経について

大般若経は、正式には「大般若波羅蜜多経」といい、経典の分量が多く他の経典を圧倒し、600 巻という数があります。題名は、サンスクリット語の「プラジュニャー（智慧）」と「パーラミター（完成した）」と「フリダヤ心臓（もっとも大事なもの）」という意味です。それを、漢字に音訳したもので「般若波羅蜜多」と読んだものを、玄奘三蔵法師によって翻訳されたものです。この玄奘三蔵という方は、中国からインドに行って経文を持ち帰っただけの人ではありません。インドで熱心に仏教の勉強をし、インドの言葉もマスターした後、中国に戻ってから、持って帰った山のような経文などをインド語から漢文に翻訳し続けた方です。仏典を見事な漢文に翻訳したところに、玄奘の偉大さがあります。玄奘が翻訳した漢訳版は八世紀（奈良時代）に遣唐使によってもたらされたとされています。玄奘は、「般若経」の中で際だって長いものも翻訳しています。それは、「大般若波羅蜜多経」というもので、その長さは、「般若心経」の一万三千倍もあります。声を出して読むだけで何日も、ひよっとしたら何ヶ月もかかってしまうくらいの分量です。

その「般若波羅蜜多」の智慧とは、知識や教養ではなく全ての存在は「空」とであると悟り、ものごとを正しくとらえる力で形あるものにとらわれないことを意味します。そこから転じて、様々な災難を取り除く功德がある経典として、人々の信仰を集めました。和歌山県内では、南北朝・室町時代から江戸時代にかけて寺院や神社で所蔵されるようになり、その経典の「三蔵法師玄奘奉詔譯」が 100 組以上の経巻が現在も各地に残されています。 ※(和歌山県立博物館の資料引用)



和歌山県立博物館所蔵の 2 巻 2013. 2 写



和歌山県紀の川市所蔵(旧 打田町蔵)2013. 2 写

この「大般若波羅蜜多経」は、平安時代後期に書き写され、紀州那賀郷池田庄中三谷村字杉之森にあった建初山愛染院 金剛寺(古義真言宗・山階派・京都・勸修寺の末寺)に、常に変わらず永久に存在する事を目的として、「紀州池田庄金剛寺常住」の黒色の印章(ハンコ)が捺されて、金剛寺に納められていた大般若経は、600 巻のうち、多くの巻が残ったようです。600 巻と云う纏まりがいつしか失われ、ちりぢりになって他の場所に移されてしまいました。

装丁は、卷子装で経軸は朱頂黒漆塗切軸の合軸を用い、裏打ちされています。



巻第五百二十六の経典の奥書



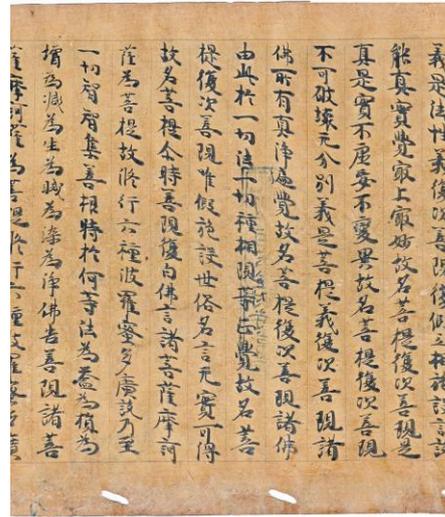
第五百二十六の経典の始め

和歌山県紀の川市所蔵（旧打田町蔵）の「大般若波羅蜜多經 卷第五百二十六」は、臨機応変に、巧みに手だてを講じて人を導く為の方便善巧を教えている經典で「第三分方便善巧品第二十六之四 三藏法師玄奘奉詔譯」で始まり、経文の七行目に校正の文字が見え、奥書には「校畢」（校正をおわぬぬ）の識語で終わっています。

その經典の装丁は、紙高 7.5 寸(24.8cm)の卷子装で経軸はなく、裏打ちされています。経文は、上余白 1.6cm・下余白 3.0cm の中に淡墨界線が引かれ、界高 20.2cm・界幅 1.9cm の中に一行十七文字詰めで書写されています。紀州那賀郷池田庄中三谷村字杉之森にあった金剛寺に、常に変わらず永久に存在する事を目的として、「紀州池田庄金剛寺常住」の黒印が、経文の主題・尾題と経文の中程の三ヶ所に捺されています。また、経文の裏側に二ヶ所の押印があり、その後、裏打ちされています。



(a) 経文の裏打ちに捺印



(b) 経文の裏に直接捺印

経文の裏側に捺されている黒印には、(a)経文の裏打ち後に黒印が捺されている巻第三百七十七と(b)経文の裏に直接に黒印が捺された後に裏打ちされている為に裏打ち側から黒印を見ることが出来ない、巻第五百二十六の2種類があります。

新潟県胎内市にある「如意山 乙寶寺(新義真言宗 智山派)」に「大般若波羅蜜多經 1 1 7 卷」が寺宝として、所蔵されています。その装丁は、卷子装で経軸は朱頂黒漆塗切軸の合軸を用い、裏打ちされている經典です。

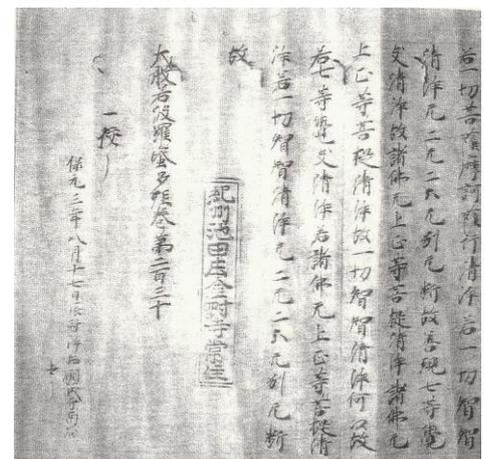
所蔵されている、右の巻二百三十の奥書に「紀州池田庄金剛寺常住」の黒印と「大般若波羅蜜多經第二百三十」と「一校了」と年記が書かれているのが見られます。乙宝寺で所蔵されている「大般若波羅蜜多經」の巻二百三十の奥書の「一校了」の後に「保元三年(1158)八月十七日辰冠澤村願成寺南堂 書了」

の識語があります。<sup>\*07</sup>

これは、紀伊国名草郡三上莊重禰(しこね)郷扱澤(冠澤)村(ぐみさわ)にある願成寺の七堂伽藍の中の南堂(南念仏堂<sup>\*08</sup>)にて、もしくは、南塔なら峯の芝にあった多寶塔と考え、八月十七日の辰(朝五つ)に校正を「書了」書き畢ぬと解釈されます。

これらの「大般若波羅蜜多經」の書き写された時代が保元三年(1158)以前の近い頃であり、紀州池田庄金剛寺の経蔵に「紀州池田庄金剛寺常住」の黒印が捺されて収納されていたと考えられます。

その中の「大般若波羅蜜多經 卷第二百三十」の奥書に記載されている「願成寺」は、和歌山県海南市別所(紀伊国名草郡三上莊重禰(しこね)郷別所村)にある第74代天皇である鳥羽天皇の妃であり、崇徳・後白河天皇の母である勤修寺流の藤原待賢門院璋子(たいけんもんいん)の冥福を祈るため、朝廷の命を受けて湛慶上人(美福門院の兄弟と見える)が久安元年(1145)に創建された、かつては七堂伽藍があった寺院です。本尊である十一面千手眼観世音菩薩座像は、鎌倉時代中期のものとして、国の重要文化財に指定されています。<sup>\*09</sup>※藤原璋子(ふじわらのしょうし / たまこ)の時代は、康和3年(1101年)～久安元年8月22日(1145年9月10日)



大般若波羅蜜多經 卷二百三十

この「紀州池田庄金剛寺常住」の黒印された「大般若波羅蜜多經」は、平安時代後期から鎌倉時代にかけて、作られたものと考えられます。「大般若波羅蜜多經卷第〇〇」で始まり「紀州池田庄金剛寺常住」の「黒印」の記述ある平安時代後期から鎌倉時代にかけて作成された經典は、下記の「所在一覧表」に記載されている、2014年2月現在で確認されている191巻があります。

「大般若波羅蜜多經」の所在一覧表（「紀州池田庄金剛寺常住」の捺印がある）

No.	所有者	所在地	員数	備考	典 処
1	紀の川市歴史民俗資料館	和歌山県紀の川市	1	526	經典
2	和歌山県立博物館	和歌山県和歌山市	2	377,548	經典
3	龍谷寺		4	1,495,509,593	經典
4	石川県立美術館	石川県金沢市	2	220,253	石川県美図録
5	阪本龍門文庫	奈良県吉野町	1	513	龍門文庫善本書目
6	唐招提寺	奈良県奈良市	1	459	唐招提寺古經選
7	諸上寺	新潟県村上市	2 4		越佐の經典
8	観音寺	新潟県阿賀野市	1	108	越佐の經典
9	乙宝寺	新潟県胎内市	1 1 7	2,16,19,22,45,54~56,59,63,64,66,68,74,75 78,84,90,103,106,107,117~119,126,129, 133,135,136,138~140,145,158,160,162,163,177 187,196,198,204,206,210,213,219,223,230,231 234,240,241,243,250,252,263,265,266,270,275 289,289,291,98,299,316,319,323,326,337,345 349,356,359,361,364,365,376,394,396,403,410 428,443,452,467,472~474,480,483,490,499,500 504,511,520,525,536,557,559,570,572,577,580 596,不明が 11	越佐の經典
10	早稲田大学図書館	東京都新宿区	1	408	
11	古裂會	京都府京都市	3 1	174,218,224,247,267,268,280,3,10,14,28, 61,72,101,144,285,306,318,331,355,363 369,372,46,435,437,439,485,558,565,200	56 回入札 オークション
12	ネットオークション		6	374,297,327,497,542, 489	

計 191

※協力：紀の川市歴史民俗資料館・和歌山県立博物館・胎内市文化財係・乙宝寺・海南市文化財振興係  
<参考資料>

1. 紀の川市歴史民俗資料館資料
2. 和歌山県立博物館資料
3. 胎内市文化財係・乙宝寺資料
4. 紀伊名所図會・紀伊続風土記・那賀群誌・打田町史・海南市史

（ 註 ）

- \*07 胎内市発行の16 紙本墨書 大般若波羅蜜多經 百十七巻の41 頁~43 頁に記載があります。  
胎内市の文化財（胎内市教育委員会）発行 韋 23 年(2011)3 月 31 日の 24 頁より。
- \*08 『紀伊続風土記 第1 輯』（仁井田 好古編 臨川書店）441 頁~443 頁に  
「願成寺」の項目がありますが、南念佛堂という堂宇があるという記述があります。
- \*09 願成寺：みどころ紀州路ホームページより。海南市史：第二章中世の海南 248 頁の「願成寺」より。